YAMAHA

J

YSP-2200 (YSP-CU2200 + NS-SWP600)

簡易接続・操作ガイド

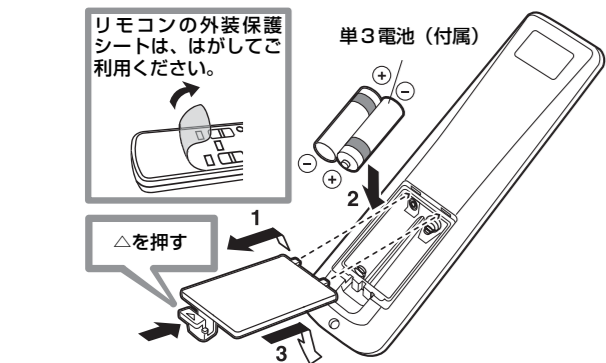
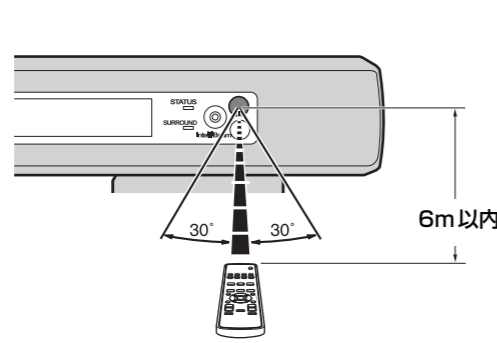
日本語

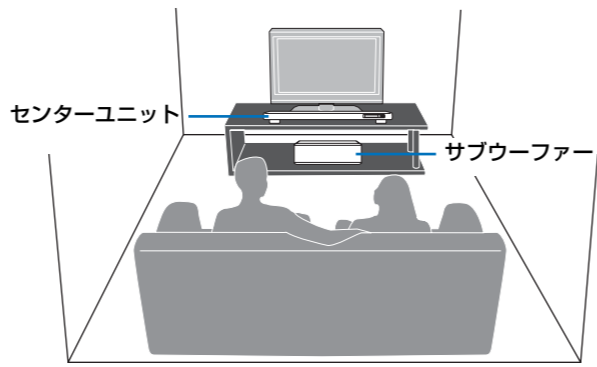
このガイドでは、本機とテレビ、ブルーレイディスクレコーダーを接続し、再生を楽しむまでの手順を説明します。
必ずはじめに取扱説明書の「安全上のご注意」（56ページ～58ページ）をお読みください。

リモコンの準備をしましょう

リモコンに電池を入れる

リモコンの操作範囲

Printed in Malaysia WV67650 [Ja]

YSP-2200 を設置しましょう

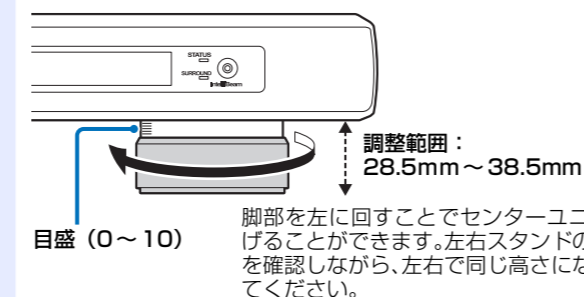
● 本機はできるだけ左右の壁から均等な距離の位置に設置してください。
● 本機の正面で視聴してください。

テレビの前面に人感センサーなどの各種センサーや、3Dグラス用の発信部がついていることがあります。センターユニットがそのセンサーや発信部を隠すことがありますが、その場合はテレビとセンターユニットの距離を離したり、センターユニットをラックの中に入れるなどしてください。

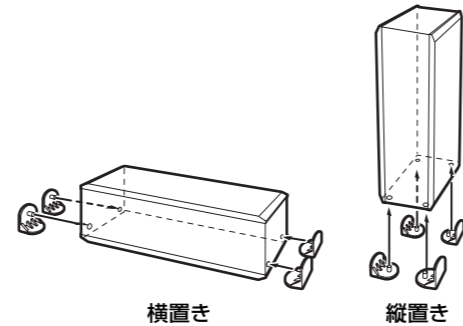
センターユニット

● 左右の壁の中央に設置してください。
● 視聴位置となるソファーなどが本機の正面になるように設置してください。
● 本機と視聴位置の間は 1.8m以上離してください。

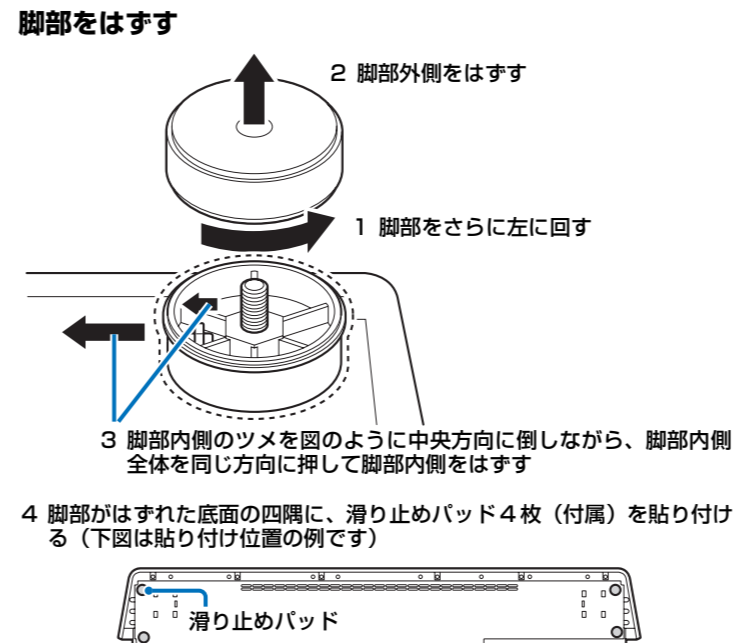
サブウーファー

より良いサラウンド感を得るため、サブウーファーはセンターユニットになるべく近い場所に設置してください。

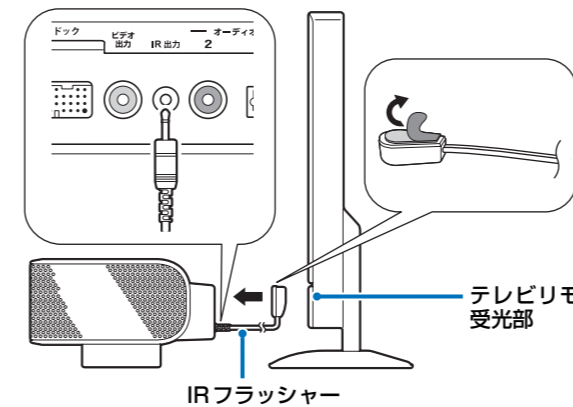
テレビのスタンドをまたいで設置する場合

サブウーファーに転倒防止スタンドを取り付ける

サブウーファーは転倒防止のため、以下のように付属のスタンドを取り付けてから設置してください。ラック中央に設置する場合は横置き、ラックの横に設置する場合は縦置きが便利です。

センターユニットがテレビのリモコン受光部などを隠す場合

脚部をはずす

4 脚部がはずれた底面の四隅に、滑り止めパッド4枚（付属）を貼り付ける（下図は貼り付け位置の例です）

IRフラッシャーを取り付ける

本機前面でテレビのリモコン信号を受信し、IRフラッシャー（付属）を使ってテレビへ伝達します。IRフラッシャーの先端にあるLED部の剥離紙をはがし、図のようにリモコン受光部に近いセンターユニットのリアパネル側へ貼り付けるか、テレビのリモコン受光部に直接貼り付けてください。プラグはセンターユニット背面のIR出力端子へ接続してください。

ヒント

● IRフラッシャーを使用する場合は、テレビのリモコンをセンターユニットに向けて操作してください。
● この機能は本機がスタンバイ状態でも有効です。
● テレビによってはこの機能が動作しない場合があります。

テレビやブルーレイディスクレコーダーと接続しましょう

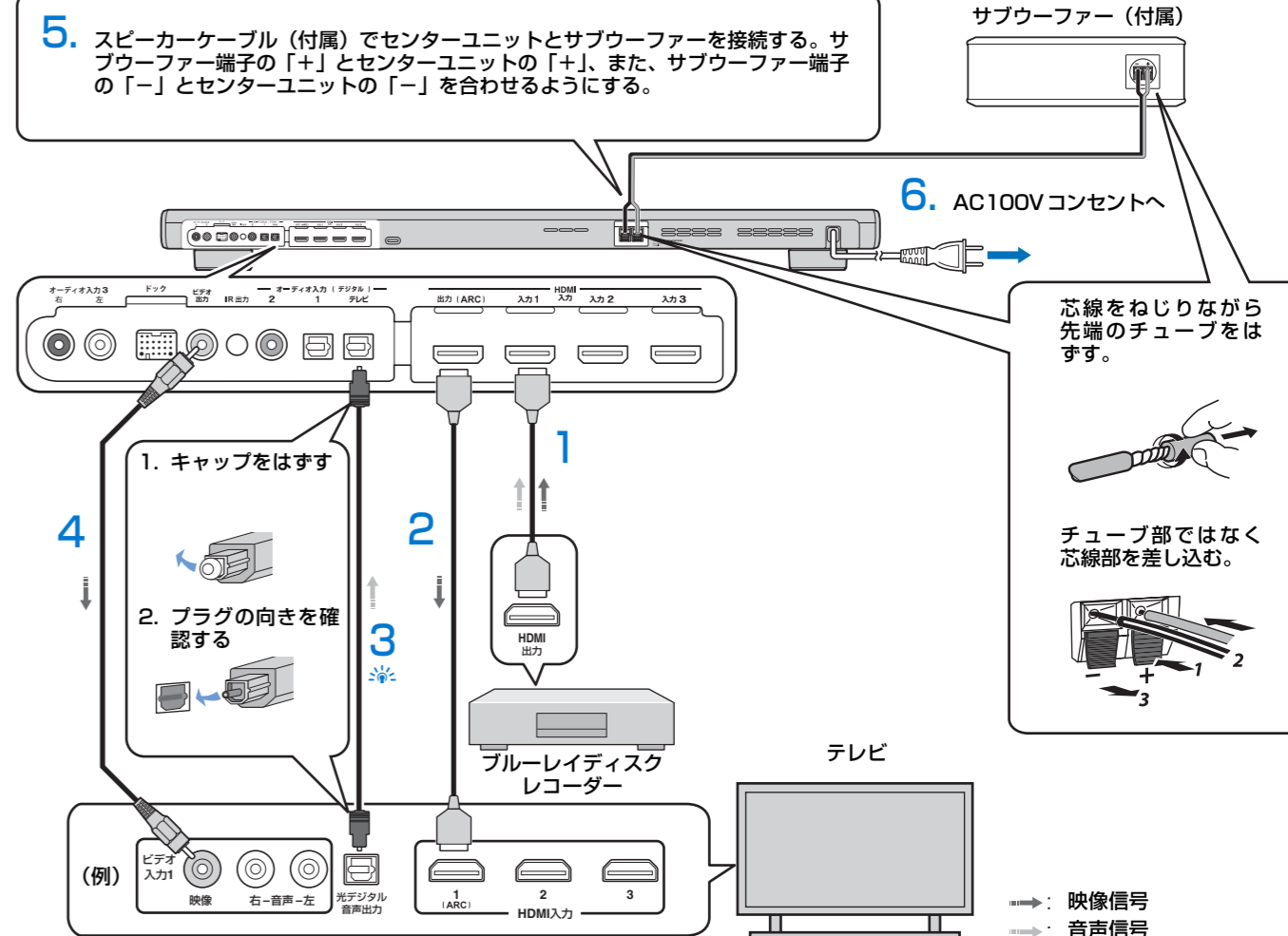
● 電源コードは、すべての接続が完了してから接続してください。
● ケーブルプラグや端子に損傷をあたえる原因となりますので、プラグを差し込む際に強い衝撃をあたえないようにしてください。

ケーブルの接続は以下の順番で行ってください。

1. HDMI ケーブル（別売）
ブルーレイディスクのデジタル映像・音声を本機に入力します。

2. HDMI ケーブル（別売）
ブルーレイディスクのデジタル映像をテレビに映します。

3. 光ファイバーケーブル（付属）
テレビのデジタル音声を本機で再生します。

4. ビデオ用ピンケーブル（付属）
本機のメニュー画面をテレビに映します。

ヒント

オーディオリターンチャンネル（ARC）対応のテレビの場合

● HDMIケーブルはテレビのオーディオリターンチャンネル対応端子（「ARC」などの表示のある端子）に接続してください。光ファイバーケーブルの接続は必要ありません。
● オーディオリターンチャンネル（ARC）を有効にするには、本機のHDMIコントロール機能を有効にしてください。（☞取扱説明書23ページ）。

オーディオリターンチャンネル（ARC）とは？

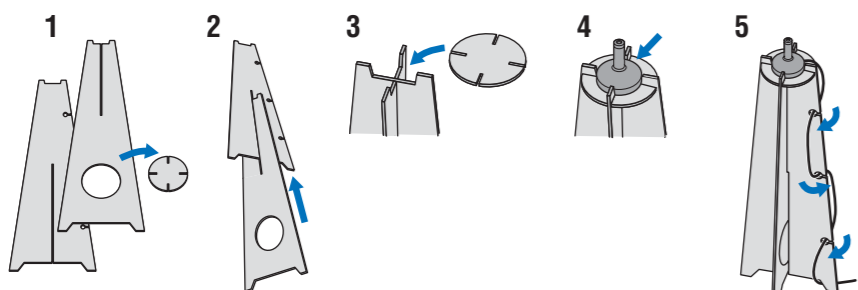
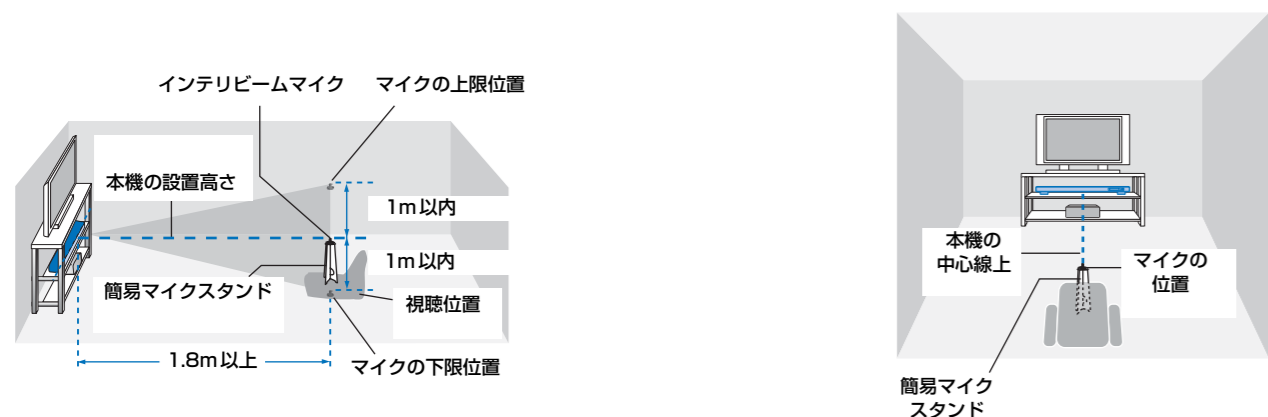
テレビの出力するデジタルオーディオ信号を、HDMIケーブルを通して本機へ伝送する機能です。この機能により、テレビから本機へ接続する光ファイバーケーブルを省略することができます。

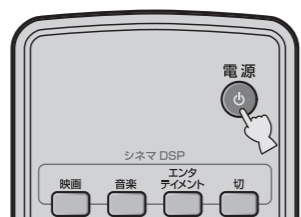
その他、ゲーム機などを接続する場合は、取扱説明書の15ページを参照してください。

最適なサラウンド効果を自動で設定しましょう

付属のインテリビームマイクを使用してリスニングルームの環境を測定し、各チャンネルの設定を自動的に調節します。
測定中は大きなテスト音が出力されます。小さなお子様が部屋にいる場合や部屋に入ってくる可能性がある場合は、自動設定機能を使用しないでください。

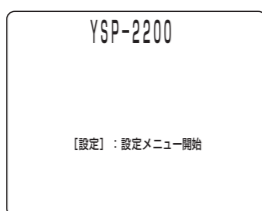
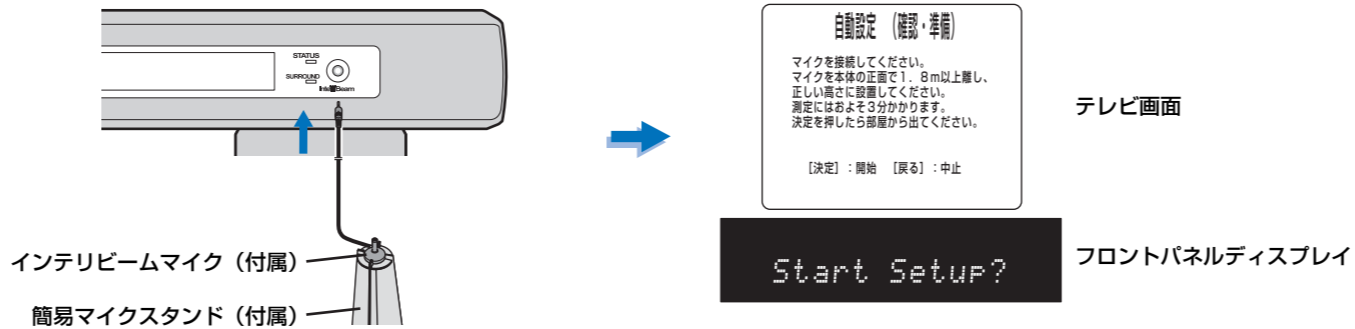
1. インテリビームマイクを実際に視聴する位置に設置する

下図のように簡易マイクスタンドを組み立て、インテリビームマイクを上に置いて使用します。インテリビームマイクは傾かないよう、水平に置いてください。

簡易マイクスタンドを利用し、できるだけ視聴時の耳の高さとなる位置に設置してください。
※ソファーの背もたれなど、マイクと壁の間に障害物（壁に接している家具は除く）がある場合には、障害物を移動したり、マイクをより高い場所に設置してください。

2. リモコンの電源キーを押す

本機の電源がオンになります。

3. テレビの電源を入れ、テレビの映像入力切替を操作して、YSP-2200の映像に切り替える

本書の接続例のように、「ビデオ用ピンケーブル」をビデオ入力1に接続した場合は、テレビの映像入力をビデオ入力1に切り替えます。
画面が表示されない場合は、本書の接続例の「ビデオ用ピンケーブル」が正しく接続されているか確認してください。

YSP-2200

［設定］：設定メニュー開始

4. インテリビームマイクを本機のINTELLIBEAM端子に接続する

5. 部屋の環境ができるだけ静かに保たれていることを確認する

正確な測定・設定のため、エアコンなど騒音を発生する機器がある場合は、電源を切ってください。

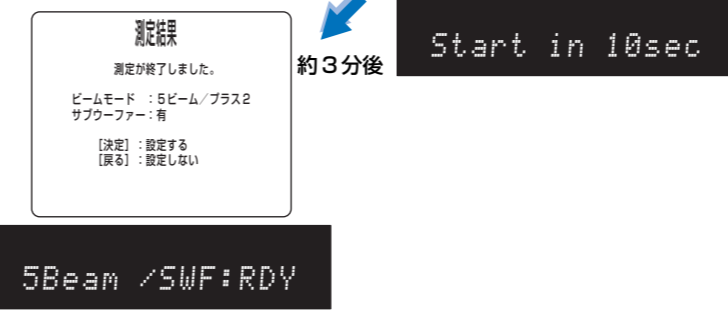
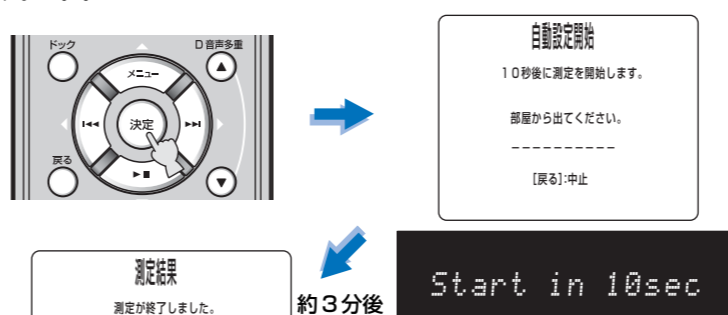
ヒント

次の手順を実行したあと、部屋から出てください。部屋の中にいると、最適な設定が行われない場合があります。
部屋の外に出るときは、本簡易接続・操作ガイドも一緒にお持ちください。測定は開始から終了まで約3分かかります。その間は部屋の外でお待ちください。測定中に自動設定を中止したい場合は、リモコンの戻るキーを押してください。

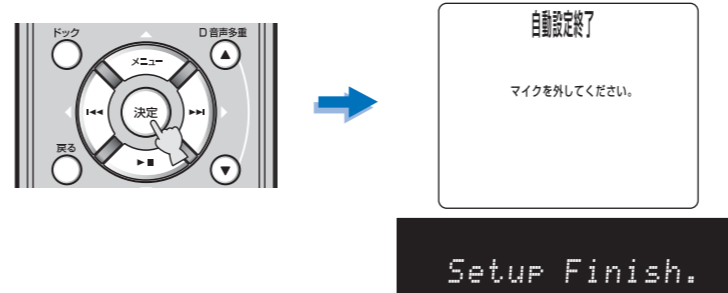
6. 決定キーを押して測定を開始し、10秒以内に部屋の外に出る

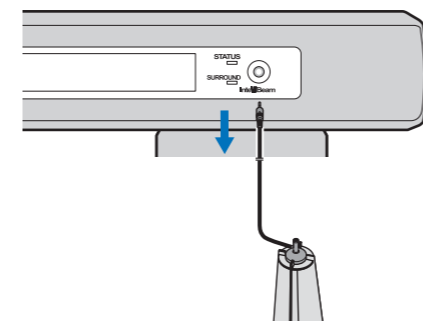
測定中の項目に従って、画面が自動的に切り替わります。
測定が終了すると終了音（チャイム音）が出力され、測定結果画面が表示されます。
「環境チェック ：エラー」（フロントパネルディスプレイの場合、「Error Code:E-1」など）と表示された場合は、取扱説明書の19ページを参照し、再度設定してください。

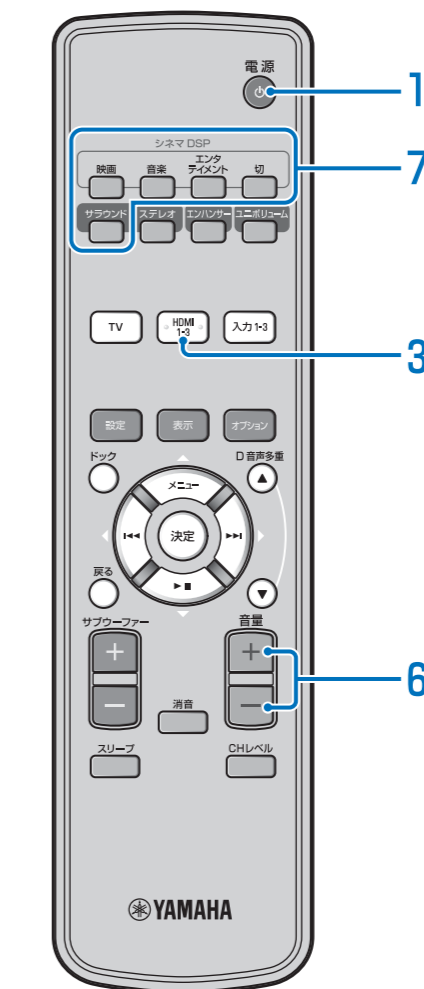
ヒント

- 本機の設置位置により、測定結果表示画面は異なります。
- エラー音（ブザー音）が出力され、画面にエラーメッセージが表示された場合は、「エラーメッセージとエラー後の操作について」（取扱説明書19ページ）を参照して問題を解決してください。その後、戻るキーを押して再度設定してください。

7. 決定キーを押す

測定結果を保存します。

Setup Finish.

8. インテリビームマイクを外す

初期画面に戻ります。マイクは大切に保管してください。
測定結果は本機に記憶されます。

再生しましょう

付属の「サラウンド確認用DVD」を再生して、正しく接続・設定されているか確認します。

1. 電源（⏻）キーを押して、本機の電源をオンにする。

2. テレビとブルーレイディスクレコーダーの電源をオンにする。

3. HDMI1-3キーを押してブルーレイディスクレコーダーを選ぶ。

ヒント

テレビを見る場合はTVキーを押します。

4. テレビの入力をHDMI入力1に設定する。

5. ブルーレイディスクレコーダーで付属のサラウンド確認用DVDを再生する。

サラウンド確認用DVDについては付属の「サラウンド確認用DVD説明書」をご参照ください。

6. 音量＋／－キーを押して、音量を調節する。

ヒント

テレビから音が出ている場合はテレビのリモコンで消音してください。

7. サラウンドキーを押した後でシネマ DSP キーを押して、お好みのサウンドに設定する。

ヒント

再生されない場合は

- 本機とブルーレイディスクレコーダーの接続を確認してください。
- ブルーレイディスクレコーダーの音声出力設定がデジタル音声出力に設定されているか確認してください。
- テレビの入力が正しく選択されているか、確認してください。

それでは再生をお楽しみください！

本機をさらに活用する方法については、付属の取扱説明書をご覧ください。

ヒント

テレビと本機を連動させる

HDMIコントロール（リンク）機能に対応したテレビを使用している場合、テレビのリモコンで本機をコントロールすることができます。
設定については取扱説明書の23ページをご覧ください。